



萩の風

仙台市立東仙台中学校
学校だより 第12号
令和6年3月15日

令和5年度協働型学校評価における重点目標

「他者を思いやる心, 命を大切にする心の育成 ~日頃の挨拶・ボランティア活動を通して~」

卒業に向けて・・・。

その1 卒業認定会

2月15日(木)3年生の卒業に向けて、卒業認定会を行いました。生徒の出席日数や成績などを確認し、場合によっては事前に保護者の方そして生徒自身に、卒業についての意思を確認させていただきました。審議の上、3学年223名の卒業認定をいたしました。これによって、3学年全生徒、晴れて卒業式に向けてカウントダウンが始まりました。



その2 卒業式の練習

卒業に向けて生徒たちは、2月の下旬から卒業式に向けて卒業式の練習が始まりました。入退場の練習、証書授与の練習、立ち方・座り方など細かい動きを含め、練習を通しながら卒業への意識を高めていきました。はじめは、よく分からない顔をしながらも、回数を重ねる毎に、その顔つきは変わり、意識の変化を感じるものになっていました。一人一人卒業への思いは違うと思いますが、3年間過ごした学び舎を巣立つ心の準備をしていることが伝わる空間に変わっていくことが感じられる時間になっていました。



その3 予餞会



公立高校の入試も一段落した3月7日(木)1・2年生が主催で3年生を送る「予餞会」を行いました。執行部が中心となって冬休み前から長い時間をかけて準備を重ねてきました。3年生に中学校生活を振り返って頂きながらも、新しい旅立ちに華を添える会です。



す。

そして、それは3年生の入場から始まりました。入場完了後、開会の言葉、実行委員長のお話、そして校長先生からお話をいただきました。ここまでは立派な態度で、今から会が始まるかというほど整然





とした態度でした。しかし、ここからは…、…一気に雰囲気が変わりました。ある意味、東仙中のけじめのある切り替えと成長を感じます。

この雰囲気の殻を壊したのは、生徒会執行部の先生方のクイズ大会でした。紙面ではとても書けないような情報を生徒たちは入手し、○・×形式で



○と思う生徒はその場に立つというルールで、正解は該当の先生が

答えるというものでした。驚きや笑いあり、会場はテンションが上がり始めました。そして、スライド上映。その内容は、各部活動から先輩へのメッセージ。転勤された先生からのメッセージ。1年生からの様々な行事の様子とテンションはMAXとなり、会場は大きな笑い声と大きなよめきが入り交じっていました。



続いて、大きなかけ声と共に体育館に入ってきた集団。ソーラン隊の演舞が舞台上で繰り広げられました。熱い気持ちの踊り手に、



熱い視線での眼差しで返す3年生の姿が印象的でした。

ここで、休憩を挟んで、1・2年生合同で合唱のプレゼンをしました。曲はいきものがかりの「ありがとう」を送りました。会場は合唱の声以外はなく、しっとりとした空気に包まれ、合唱を通して心を通わせていたようでした。次に合唱交換ではありませんが、3年生が1・2年生に向けて、合唱のお返しをしました。曲は「旅立ちの日に」と「3月9日」の2曲どちらも素晴らしい合唱でした。その歌声には迫力があり、迷いのない表情と声でキリッとした姿で歌う3年生に1・2年生も聞き入っていました。



最後は、校歌を全学年で歌い会は終了となり、3年生の退場で幕を閉

じました。

3年生の背中のかさをあらためて感じた1・2年生かと思いますが、この大きな会をきっちりとやり遂げた1・2年生に3年生も安心してバトンを渡すことができたと思います。



その4 同窓会入会式

卒業するという事は、在校生から卒業生になるということで、この東仙台中は卒業と同時に母校となり、卒業生一人一人同窓生になります。歴史ある東仙台中学校の同窓生は、昨年度までで延べ19,710人となり、多方面で活躍している先輩方がたくさんおられます。そんな同窓会に入会すべく、3月8日（金）同窓会入会式を行いました。同窓会入会式には、同窓会会長であります、元仙台市議会副議長 W, K様をお迎えし、生徒たちに卒業にあたってのなむけの言葉をいただきました。また、各クラス代表の世話人の確認など、卒業し同窓生になる準備と気持ちをととのえました。



そして・・・「卒業式」・・・。

3月9日（土）第75回卒業式を挙げていたしました。当日の天気は、春といえどもまだ肌寒い風が吹きながらも、日差しが差し込む穏やかな天気となりました。そして、コロナ禍も明け、たくさんの保護者の方々、たくさんの御来賓の方々に見守られる中執り行うことができました。



卒業生が、キリッとした姿で、少し緊張を見せながらも会場に入場し、式は始まりました。厳粛な空気に包まれる中、担任が呼名し、学年主任が介添えとなり、校長より一人一人に手渡される卒業証書。そして、受け渡される瞬間を誰よりも見守る保護者の方々の視線。3年間の中学校生活、そして9年間の義務教育の終わりを見守る目にハンカチを添える姿も見受けられ、あたたかい空間がそこにはありました。そして、式辞・祝辞・送辞・答辞・卒業の歌。と式が進むにつれ、生徒たちの目にも熱いものがこみ上げていました。



卒業生が、キリッとした姿で、少し緊張を見せながらも会場に入場し、式は始まりました。厳粛な空気に包まれる中、担任が呼名し、学年主任が介添えとなり、校長より一人一人に手渡される卒業証書。そして、受け渡される瞬間を誰よりも見守る保護者の方々の視線。3年間の中学校生活、そして9年間の義務教育の終わりを見守る目にハンカチを添える姿も見受けられ、あたたかい空間がそこにはありました。そして、式辞・祝辞・送辞・答辞・卒業の歌。と式が進むにつれ、生徒たちの目にも熱いものがこみ上げていました。



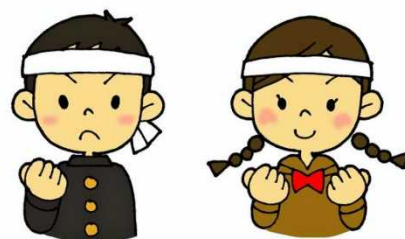
そんな感動的な卒業式が終わると、中学校から巣立つ時がやってきます。東仙中をやがて母校と言ふときもきっと自然と来ることでしょう。教室で最後の学活を終えた卒業生たちは、校庭で写真などを撮り合い校門を後にする姿がありました。そしてその後ろ姿には、たくましくも成長した背中があり、これからの希望に満ちた未来と自信を感じました。今後のご活躍を期待しています。



御卒業おめでとうございます。

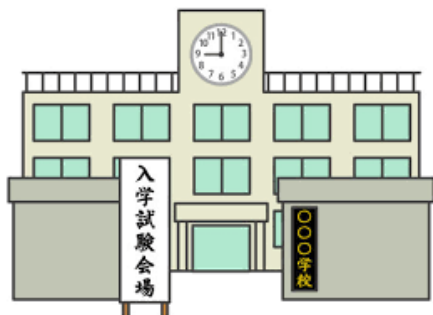
公立高校入試

3月5日（火）公立高校の学力検査（第一次募集）が行われました。公立高校を進学先として第一志望としている生徒は本校でも多く、たくさんの生徒が受験会場に向かいました。私立高校の受験は終わっていますが、本命の受験となれば、緊張も今まで以上であったと思います。前日の夜は、雪がちらつき当日は冷たい風が吹く朝となっていましたが、各高校から連絡が入ることなく、受験生は全



員、誰一人遅れることなく会場に入りました。

試験は、その日の体調もあると思いますが、実力以上の手応えを感じた生徒、残念ながら緊張のあまり思ったよりできなかった生徒と感想は様々だったと思います。多くの生徒は、初めて人生の大きな岐路に立ち自分の実力を精一杯発揮する一日になったことと思います。この経験は、将来きっと大きな糧となって自身に返ってくるものと思います。また、生徒以上に保護者の方も神経を使ったことと思います。受験に関わった皆様大変お疲れ様でした。



本校同窓生より御講話を頂きました。

3月6日（水）本校第2回卒業生のH、T氏をお招きして、御講話を頂きました。堀江氏は、仙台市役所勤務を経て、民間企業にご勤務されながらボランティア活動を約30年間にわたり行ってきた経歴をもつ方です。その取組は、「旭日単光章叙勲」「総務大臣賞表彰」「全国自治会連合会表彰」「仙台市政功労者表彰」と数々の表彰を受けるなど、とても輝かしいものです。



今回の講話は、3年生を対象としたもので、体育館で行いまし

た。H様の中学時代、市役所教育委員会時代、40歳で市役所を辞め東京に出て様々な方と知り合ったことなど貴重なお話を頂きました。また、講話終了後、生徒から質問も次々と出て、「中学校のとき好きな女の子はいましたか？」などのフランクな質問にも笑みを浮かべながらお答えいただくなど、短い時間ではありましたが生徒にとって、良き先輩と触れ合う貴重な時間となりました。



安全・安心に・・・防犯カメラ設置

この度、防犯カメラが本校にも設置されました。防犯カメラは、昼間・夜間に関わらず24時間東仙中を見守ってくれることとなります。今後、御来校の機会があるときは、少し上を向いてカメラを確認していただくのも良いかと思えます。





萩の風

仙台市立東仙台中学校
学校だより 第13号
令和6年3月15日

令和5年度協働型学校評価における重点目標

「他者を思いやる心、命を大切にする心の育成 ～日頃の挨拶・ボランティア活動を通して～」

ダストシューティング・・・？

「ダストシューティング」・・・？コロナ禍が明け、生徒会が企画し復活させた取組です。この活動は、地域社会との連携と学区の美化のために、ボランティア活動として「ダストシューティング」と銘打って、登校中に落ちているゴミを拾ってきてもらい学校で執行部が回収するものです。回収するものは、空き缶・ペットボトル・

ビニールゴミ・紙ゴミとなり、時間は7：55～8：15。回収場所は正門、南門で執行部生徒がゴミを分別して回収します。

3月1日（金）に活動予定をしていましたが、天候不良のため中止となってしまいました。それでも当日の朝、生徒会執行部の生徒は、誰かゴミを持ってくるかもしれないと、影ながら、活動を行いました。今後も活動継続予定です。御家庭でも一声お声掛けお願いいたします。



コロナ禍前の活動の様子1



コロナ禍前の活動の様子2

感謝です① 3学年 最後の保護者会・学級懇談会。

2月22日（木）15：00より、「第3学年保護者会」を行いました。当日は、前の週とは変わり一気に冬に戻ったような寒気におおわれる予報があり、急遽会場を体育館から各教室で行うことに変更させていただきました。各先生方からのお話にも力が入り、予定より時間が延びてしまいました。今まで保護者の御理解に感謝する気持ちのあらわれかと感じました。

保護者会終了後、学級懇談会を行い、短時間でありましたが、担任の先生と保護者の方々の時間をとって、膝を交えての時間を過ごしました。学校は保護者の方の御理解とお力添えが必要不可欠です。学校に足をお運びいただいた保護者の皆様、残念ながらお忙しく足を運べなかった保護者の方々、3年間御協力頂いたことに感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

保護者会終了後、学級懇談会を行い、短時間でありましたが、担任の先生と保護者の方々の時間をとって、膝を交えての時間を過ごしました。学校は保護者の方の御理解とお力添えが必要不可欠です。学校に足をお運びいただいた保護者の皆様、残念ながらお忙しく足を運べなかった保護者の方々、3年間御協力頂いたことに感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



感謝です② PTA・・・頑張った一年間でした。

今年は、コロナ禍が明け、PTA活動も制限がなくなり活動を行いました。コロナ禍の3年間のブランクは大きく、どの委員会も昨年度の前例が無い中での活動となりました。そんな中、今まで、委員も役員もやったことのない方が突然の委員長の役を務めるなど、たくさんのご苦勞もあったかと思えます。

そして、2月22日(木)今年度最後となる、PTA運営委員会が行われました。会の中ではお一人お一人、一言を頂く場面がありましたが、一年間が終わるとい意識からかすっきりとしたお顔で、お話しされる姿が印象的でした。



そんな保護者の方々が時間を割き、一生懸命取り組まれた姿は、必ずお子様が見ているものです。そして、これからお子様が成長し、やがて大人になったときに口に出さずとも必ず感謝する時が必ずやってくるものと思います。そして今回の子育て談議を交わした仲間とずっと長いお付き合いが始まる場合もあると伺います。保護者の方は保護者の方で、この出会いを今後も大切にしていだければと思います。一年間本当にありがとうございました。

4月の行事予定

日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	月		16	火	副教材集金日, 発育測定, PTA 第5回運営委員会・役員会 17:00
2	火		17	水	5校時限, 部活中止, 職員会議
3	水	新入生予備登校 9:00, 物品販売 10:30	18	木	全国学力状況調査(3年), 開校記念日
4	木		19	金	結団式(3年), 学年会(3年), 部活中止
5	金		20	土	
6	土		21	日	
7	日		22	月	修学旅行(~24)大阪・京都方面
8	月	弁当, 着任式・始業式, 対面式リハーサル	23	火	
9	火	入学式 14:00, 部活中止	24	水	
10	水	給食開始, 対面式, 午前 45分授業・午後 50分授業	25	木	学年会(1・2年), 3年生振替休業日 部活中止
11	木	部活中止(市標準学力検査前日のため)	26	金	45分授業, 4校時限, 給食なし, 3年生振替休業日, PTA総会 14:00, 学年保護者会 15:00, 学級懇談会 15:45, 部活中止
12	金	市標準学力検査	27	土	
13	土		28	日	
14	日		29	月	
15	月	専門委員会, 部活中止	30	火	